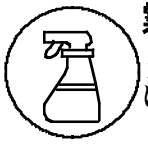
防犯フィルムの貼り方 （フイルムは必ず室内側に貼ってください）

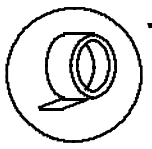
●必要な道具（お客様でご用意していただくもの。）



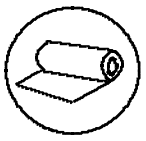
霧吹き
水溶液を吹き付けるのに使います。

中性洗剤＊台所用洗剤
水と混ぜて水溶液を作ります。

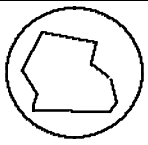
＊アルカリ性・酸性のものは使用できません。



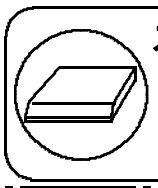
セロハンテープ
保護フィルムを剥がすのに使います。



ペーパータオル
キッチンペーパー
スキージィ(ヘラ)に巻いて仕上げに使用します。



柔らかい布かガーゼ
スキージィ(ヘラ)に巻いて圧着に使用します。



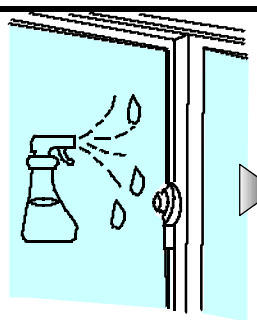
スキージィ（ヘラ）
（当店からの無償提供です）
必ずガーゼかペーパータオルで巻いてご使用下さい

●フィルム貼りの手順

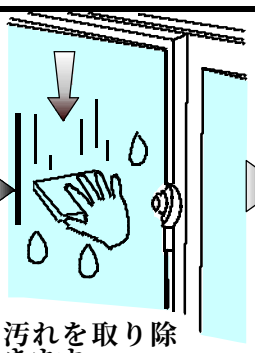
1．水溶液をつくります。

防水と汚れ防止のために、床にシートや新聞紙などを敷いてから、作業を始めてください。

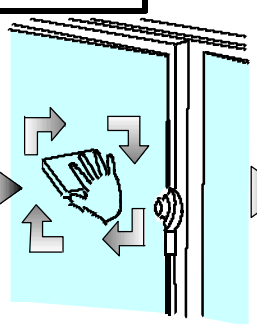
2．ガラス面（室内側）をきれいにします。



水溶液を吹き付けます。



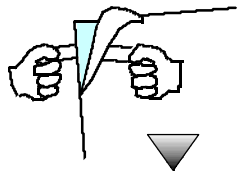
汚れを取り除きます。



窓枠の汚れはペーパータオルで拭き取ります。

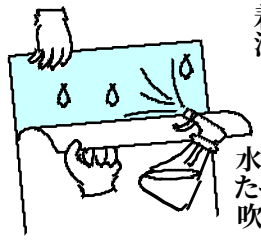
固く付着した汚れがある場合
ガラス面を傷つけないように注意して、カッターナイフなどで削ぎ落とします。

3．保護フイルムをはがしながら、水溶液を吹き付けます。



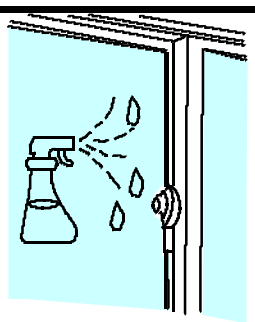
セロハンテープを利用して保護フィルムを徐々にはがします。

静電気に気をつけゴミ等が粘着面に着かないように注意して下さい。

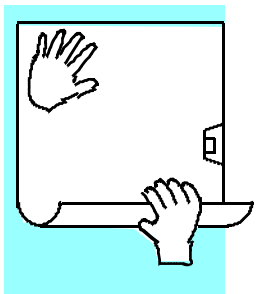


水溶液をまんべんなくたっぷりと粘着面に吹き付けます。

4．ガラスに貼り付けます。

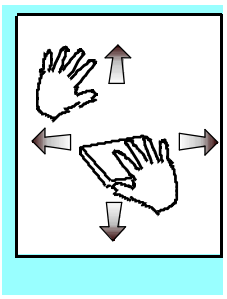


再び、ガラス面に水溶液をまんべんなく、たっぷりと吹きつけます。



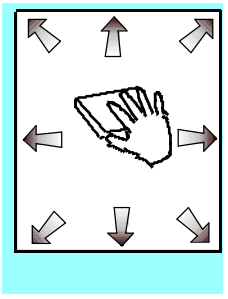
フイルムの位置を合わせながらはりつけます。鍵受け部分は横から滑り込ませるように貼り付けます。

フイルムの表面に水溶液を吹き付けます。



フイルムを軽く押さえながらガーゼを巻いたヘラを使ってガラス面とフイルムの間の水と空気を押し出しながら圧着します。必ずヘラを中央から上下左右の端に向かって少しずつ動かしてください。鍵受け部分の圧着がやりにくい場合は、ものさし等の薄いもので行ってください。

5．仕上げ



ヘラにペーパータオルを巻いて、もう一度水を押し出して、完全に圧着します。
特に端部は念入りに行ってください。

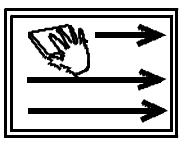
ヘラを直接フイルムの表面に当てると傷つけますので必ずガーゼやペーパータオルを巻いて養生して使用下さい。
圧着は多少力を入れて、数回圧着してください。
圧力によって粘着力が高まる特殊な接着剤を使用しています。

貼り付け後に水分や空気が抜けきらず、部分的にフイルムが浮いた状態になることがあります。
自然に消えますからそのまま放置してください。

●貼り付け後のお手入れ

■ 水溶液が乾燥するまでは、お手をふれないで下さい。この間、フィルムが白っぽく見える場合がありますが、乾燥すると消えますのでご安心下さい。
（完全に乾燥する時間）
春・夏：約２週間　秋・冬：約３週間

■ ガラス表面は必ず一定の方向にふいて下さい。
（右図参照）



通常の汚れは柔らかい布で拭き取れますが、落ちにくい汚れ(油汚れなど）は中性洗剤をご使用下さい。

（注意）アンモニア系や塩素系洗剤、有機洗剤はご使用にならないで下さい。
また、研磨剤や洗浄ブラシは表面を傷つけますので、ご使用にならないで下さい。

■ 貼り替え時のはがし方
フィルムをドライヤーなどで暖めながら、一定方向にカッターで5-10㎜間隔の筋(この時ガラスにキズをつけない様に)を入れ、フィルムを剥がしてください。
粘着剤がガラスに残った場合は、水溶液を吹き付け５分間程度放置し、ヘラで取り除いて下さい。

■ お問い合わせは
畑田ガラス店　０７２１（９８）３０１１
ホームページ http://www.hatadagls.com/
現場での大きいフイルム施工もご相談ください。

ご注意

- ●この商品はガラスの室内側から貼り付けて下さい。
- ●傷やヒビのあるガラスには絶対に貼らないで下さい。
- ●型板（摺）ガラスなど、表面に凸凹のあるものには貼ることができません。
- ●ヘラでフィルムを圧着し水を押し出す際、水の色が淡い黄色になる場合がありますこれは粘着成分が若干溶けだしている為で、安全性、性能面で全く問題はありません。
- ●フィルムの端で手を切らないようにご注意下さい。
- ●お風呂等の湿気が多い場所に貼り付けるとはがれてくる場合がありますので、お避け下さい。
- ●フィルムの表面にマジックで書いたり、ステッカーやテープを貼り付けたりしないで下さい。
- ●網入りガラスや色つきガラスへの装着はごくまれに日射の環境条件により熱割れを起こす事があります。